

突然グラグラッ!いざというときに備えていますか? 家具類の安全対策を行いましょう!

家具や家電製品などは、地震の揺れなどにより、けがや火災の原因となるだけでなく、扉や窓をふさぎ、避難の妨げになることもあります。

事故、ヒヤリ・ハット事例

倒れそうな家具を押さえた際、
激しい揺れで手首を打撲。



タンスが倒れて
ドアをふさぎ、
部屋の出入りが
出来なくなった。



食器棚の扉が開き、
食器類が飛び出しながら
倒れかかってきた。

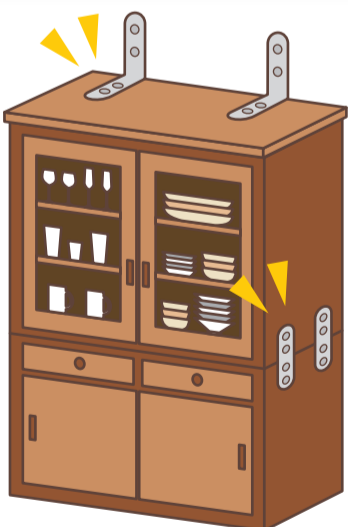


倒れかけたテレビを押さえて
身動きが取れなくなった。

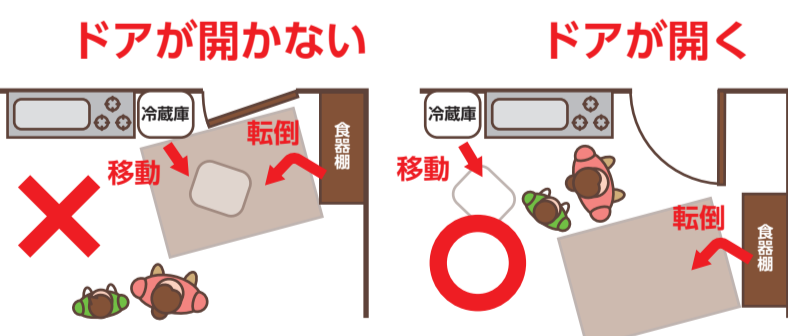


安全対策のポイント

L字金具や
連結金具等で
家具を固定。



ドアや避難経路をふさがないように
家具配置を工夫。



納戸やクローゼット、
据え付けの収納家具を活用。



いつ起こるかわからない地震に備えるためには、
日頃からの安全対策が重要です。家の中を定期的に点検しましょう。

東京都の消費生活に関する情報サイト



東京くらしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/>



東京都多摩消費生活センター

令和4年度 作成